



パートナーとの共創による相互成長



マテリアリティへの思い

企業が成長し続けるためには、さまざまな関係者との協力は欠かせません。当社はパートナーとの関係を深化させ、新たなことにも挑戦し、ともに価値を創造、成長し続けることを目指します。

取り組み課題とアクションプラン

パートナーとの関係強化

当社は、社会の変化に対応し続けるため、新たなネットワークの構築と、既存パートナーとの関係を発展・進化させることで、パートナーとともに成長してまいります。

公平・公正な取引慣行の実施

当社はパートナーとともに、公平・公正な取引を引きを継続するため、関連法規の遵守、社会規範に基づいた企業活動を推進してまいります。

アクションプラン

- 脱炭素社会の実現に向けた異業種企業との提携
- 提携整備工場との共生
- 地銀(地銀系リース会社)との共生

主な活動

EVワンストップサービスの実現に向けて

EV車は、ガソリン車より価格が高いため、導入にあたっての購入予算の捻出や充電設備の整備が必要になってきます。また、EVを利用しようとすると、航続距離によっては外出先での充電ネットワークの確保やEVを活用したエネルギー管理などの課題があります。当社ではそれらの課題をすべてワンストップでお任せいただけるよう、パートナーとの提携を進めています。

●EVワンストップサービス



パートナーとの共創による相互成長



事例紹介

EV充電ネットワークサービス構築に向けた実証実験を実施！

当社は、2023年2月から3月下旬まで、関西電力グループやEVおよび充電器の導入を検討するパートナー企業と連携し、EV充電ネットワークサービスの構築に向けた実証実験を行いました。

本実証では、EV充電スポットを有するパートナー企業等から、大阪府内を中心に既設の急速充電器および普通充電器をシェアリング、加えてパートナー企業には当社からEVを貸し出すことで、当該EV充電スポットを使用することが可能となりました。急速充電器および普通充電器を組み合わせたシェアリングの実証は全国初の取り組みです。

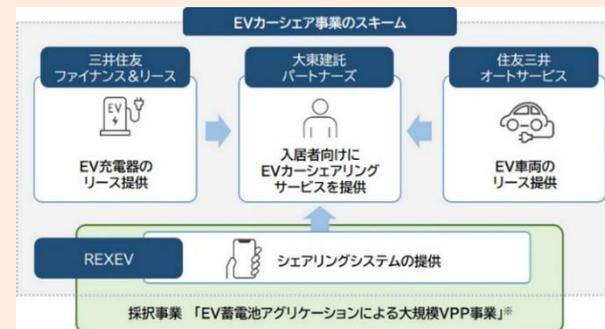
実証を通じて、パートナー企業はEVの利用実態や、充電器の使用頻度等の検証を行い、EVの運用・充電計画の作成、充電器の導入にかかるコストダウンの検討等に活用します。また、関西電力グループが実証における走行距離や充電器の稼働率等のデータ分析を行います。それらの結果を踏まえて、関西電力株式会社は、EV充電サービスのサービスプラットフォームを開発します。商業施設や飲食店等とも連携し、充電と多様なサービスを組み合わせることで、お客さまの付加価値向上を目指します。

さらに、将来的には法人のお客さまの一部充電スポットを一般のEVユーザーが利用できるシェアリングサービスも検討します。本実証を通じて、脱炭素に向けた取り組みを推進することで、持続可能な社会の実現に貢献します。

社有EV車を活用したカーシェア事業を共同で開始
～EVエネルギー管理の実用化を目指す～

当社は、大東建託パートナーズ株式会社と株式会社REXEV、三井住友ファイナンス&リース株式会社と共同で、2023年3月から大東建託パートナーズが管理する賃貸住宅の入居者を対象に、同社の社有車を活用した「EVカーシェア」の事業化に向けた取り組み

を開始しました。4社が協力して行う本事業では、EV蓄電池とIoT技術を活用し新しい電力需給調整の仕組みを構築、「ゼロエミッション東京」の実現に向け、EVエネルギー管理の実用化を目指します。



企業間EVカーシェアリングの実証実験

当社は、SCSK株式会社およびSMAサポート株式会社の3社において、今後需要が見込まれる、企業間EVカーシェアリングサービスの構築に向け、2021年7月から実施している福岡支店に続き、同一ビル内に入居している名古屋支店およびSCSK中部支社との間で、企業間EVカーシェアリングの実証実験を開始しました。

働き方改革に伴い、多くの企業で固定費削減のため、社用車の削減やカーシェアへの移行ニーズがあります。稼働率の低下したクルマを企業間でカーシェアリングを行うことにより、企業の負担低減を可能にします。また、複数社での共同利用は、EV導入コストを抑え、脱炭素を推進します。

本取り組みは、具体的なスキームの作成、システムの検証、メンテナンスなどの運営体制を構築し、企業間EVカーシェアリングサービスとして事業化することを目的としています。



当社の中川中部北陸営業本部長（左）とSCSK田辺中部支社長

パートナーとの共創による相互成長

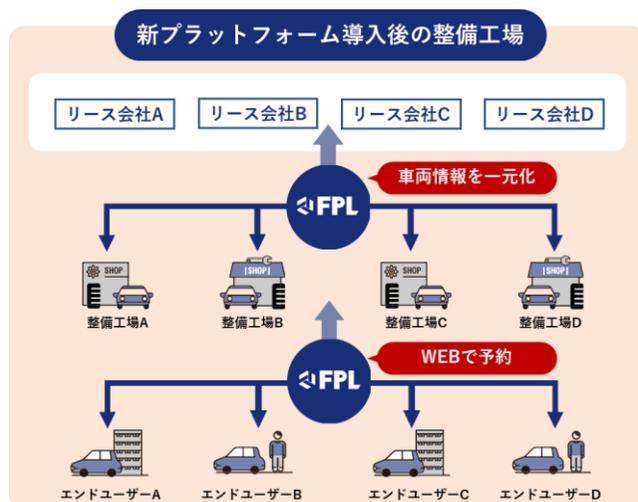


自動車リース大手4社と三菱商事エネルギーによる、車両メンテナンスDX「FLEET PITLOCK」始動！

当社と自動車リース大手3社ならびに三菱商事エネルギー株式会社の5社は、2021年10月に車両メンテナンス管理専門の共通プラットフォーム「FLEET PITLOCK(フリート・ピットロック、FPL)」の開発、普及を目的とした、業務提携を締結しました。

昨今の自動車整備業界は、急速な高齢化と人材不足、車両の技術進化に伴う新たな技術習得、自動車リース各社からのメンテナンスを請け負うためのシステム連携などによる負担感が増しており、メンテナンス業務の効率化が求められていました。これらの課題を解決するため、三菱商事エネルギーグループ会社のWebシステムのノウハウを活かし、自動車リース業界と整備工場を横断する車両メンテナンス管理の共通プラットフォームとして「FLEET PITLOCK」を開発し、業界全体に普及していくことが本業務提携の目的です。

業界上位4社の提携により、自動車リース業界の構造変革を牽引するとともにパートナーである自動車整備工場の業務効率化の支援を推進していきます。



EVメンテナンスへの対応

当社では、専門講師を招き、整備工場向けにEVの基本構造と整備研修を実施しています。2022年度は、Web上で3回開催し、合計247名(208社)に参加いただきました。

また、近畿地区を中心に現地ディーラーに協力いただき、実車を用いて動力用バッテリーの取り付け位置、マフラーがないフラットな下回り・足回り等を実際に確認する研修を行い、さらにスキャンツールを使ったEVの故障診断なども実施しました。

当社ではこれらの活動を通じ、きたるEVの本格普及に向けたEVメンテナンスに備えています。



実車を使用しての研修。EVメンテナンスは確認から故障診断まで多岐にわたる